



NPO法人日本アトピー協会

発行：NPO法人 日本アトピー協会 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階 電話.06-6204-0002 FAX.06-6204-0052
Eメール:jadpa@wing.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.nihonatopy.join-us.jp/

CONTENTS

- | | | | |
|-----------------|------|---|----|
| ◆特集ぐっすり眠りたい① | P1 | ◆日本外来小児科学会展示会報告 | P6 |
| ◆特集ぐっすり眠りたい② | P3 | ◆ドクターインバiewー | P7 |
| ◆2011年度「皮膚の日」催事 | P4・5 | (大阪府立病院機構 呼吸器・アレルギー医療センター
アトピーアレルギーセンター長 片岡葉子先生) | |
| ◆アトピーおばちゃんの娘です | P6 | ◆A T O P I C S ブックレビューほか | P8 |

特集ぐっすり眠りたい①

搔かないで眠るために

「ぐっすり眠り」「すっきり目覚める」ことはアトピーの方にとっては永遠の課題、そんなことって出来るわけないじゃん…とお叱りを受けています。とくにこれからの季節、布団に入ってしまふと体が適度に温まつたころ痒さが襲ってきます。人にもよりますがおよそ30分から1時間前後が地獄の時間。眠気とともに交感神経から副交感神経にスイッチが切り替わり自律神経の領域に入る、その境目あたりが痒さに対して過敏になると云われています。その前に眠ってしまえば…と云う乱暴なことは申しません。眠ってしまっても睡眠の浅い時は痒さで目覚めてしまい、また眠っているときでも無意識にボリボリと搔いています。

さて快眠とは、その定義によると①早い寝つき、②ぐっすり睡眠、③すっきり目覚めと云うことになりますが、どれもアトピーの方にはバツ印。これは理想論ですね。でも出来るだけこの理想に近づけるために少し工夫をしてみましょう。

レム睡眠とノンレム睡眠、これを知ることで快眠方法をマスター
眠りの研究はソクラテスの時代にも行われていましたが二十世紀初頭までナゾとされてきました。フロイトに始まる睡眠研究者たちにより睡眠のメカニズムがほぼ解明され、レム (Rapid Eye Movement) 睡眠とノンレム睡眠の二つの睡眠パターンのあることが判明。レム睡眠とノンレム睡眠がワンセットとなった90分サイクルの波が4回ほど繰り返されて目覚めに至る「サークルディアン」リズムのあることが今では定説になっています。レム睡眠とは体は眠っているが脳は起きている状態で深い眠りの大きな波、脳が起きている状態なのにまぶたの裏側では眼球が小刻みに動いていて、このように名づけられ、フランスなどでは別の名前「逆説睡眠=パラドキシカル睡眠」と呼ばれています。ノンレム睡眠とは体は起きていて脳は眠っている状態で小さく短い波となって現れ浅い眠りとされています。レム睡眠時は体が眠っているので感覚器官も働いているけれど脳が眠っているのでこれも反応が鈍く、逆にノンレム睡眠は感覚器官は働いていることがあります。そして脳が眠っているノンレム睡眠の時間帯が短いのは外敵に襲われたときに直ぐに反応できるように動物的な本能が仕組まれているから。夢を見るのは概ねレム睡眠からノンレム睡眠に移行する過程での現象とされています。夢を見ることは朝方に多く、目覚める直前というのは体が外界の刺激に反応し脳がそれに応える状況となって光や音や匂いの刺激が引き金となるということです。カレー粉を枕元に置くとカレーの夢を見るということで、えっホント?と思えることがホントに実験されたとか。

ナポレオンが三時間しか眠らなかった…というのもホントかも。

レム睡眠とノンレム睡眠は90分サイクルの波で繰り返され寝入った直後とその次の波が深い谷状を成していく順次、浅くなつて目覚めます。したがつて深い眠りの最初の波と次の波を合わせるとちょうど3時間となつて「ナポレオン睡眠」は睡眠医学では正しいとされています。ただ

短い期間の一時的な事柄であり、私たちがまねの出来るものではありませんが不眠症で睡眠時間が短いと気にしている方も3時間内外の睡眠は確保しているはず。そう考えると痒さでカイカイ時間が長く眠れなかつた…といつても睡眠時間はまあ何とかクリヤしていると考えたほうが気が楽になりますね。睡眠研究者の間では不眠よりも過睡眠の方が脳卒中や痴呆症に至るなど医学的なリスクが大きいとされています。

90分サイクルを上手に応用して一日を過ごす。

一般に睡眠時間は8時間といわれますがサークルディアンリズムでは7時間半となります。お目覚めすつきりは90分サイクルから得られ、受験勉強などでは最低4時間半の睡眠といわれるのはこのため、労基法で夜勤の仮眠時間3時間もサークルディアンリズムから、年配の方は早起きということで睡眠時間は平均6時間、これも理にかなっていますね。ちなみにほとんどの大学の講義時間は90分。したがつて複数の作業が重なつても90分単位で切り替えながらこなすというのが「出来る人」ということでしょう。

このような一日のなかでもリズムのあることを上手く活用しスケジュールを立てればアトピー軽快の糸口がつかめるかも知れません。

どうしたら快眠が得られるのでしょうか。

まず早い寝つきのために何が出来るのでしょうか。1~2時間ほど前からゆったりとリラックスして「眠り」モードに導く、その前提として直前の飲食や運動を避け、また携帯メールやパソコンなど、脳を興奮状態にすることは避けなければなりません。寝る前の読書の効用もよくいわれますが推理小説などはもつてのほかかも知れません。

睡眠導入に必要な「物理的」要因として湿度、光、音の三つの要素があり、これらの調和を保つことで良好な寝室環境が得られます。そしてあとで述べますが「寝具環境」も安眠への大きな要素となります。

湿度はエアコンの普及で適温適湿が得られ、また寝具などで調整が出来ます。エアコンが普及しない以前はふとんなどを重ね着することで適温を得ていましたが、重さで肩が凝つたり寝返りが打ちにくくと云つたことも安眠妨害の要素となっていました。

明るすぎても暗過ぎても…

さて光=明るさについてですが、明るすぎるのはもちろん、逆に完全な暗闇でもなかなか眠れません。家具や調度品の輪郭が判る程度のほのかな明るさが良いとされ、また時計が読める程度とも云われています。なお常夜灯の点光源でなく間接照明の面光源が求められます。欲を云えば青から紫にかけての光は眼鏡を誘うと云われ、はやりのLEDは白色以外に青や緑、紫などの光が選べるので間接照明の光源に使ってみるのも一案です。

またベッド脇や廊下のフットライトなどは光源が直接目に入らないような柔らかな照明を採用しましょう。

なおお目覚めのスッキリ感を得るには太陽光線は欠かせません。朝日の当たる食卓での朝食は良い一日のスタートラインです。

いいひふ 11月12日は皮膚の日

平成23年(2011年)度「皮膚の日」催事

日時：11月12日（土）14:00～17:00
会場：札幌プリンスホテル 國際館ハミール

- 市民公開講座「皮膚病なーんだそうなんだ」
1. 首のまわりが黒く見える
札幌厚生病院皮膚科 高橋 博之先生
- 2. おできのようでおできでない
北海道医療センター皮膚科 廣塙 邦紀先生
- 3. ニキビ掲示板より
山中皮膚科スキンケアクリニック 山中 清光先生
- 4. 若返るための簡単な皮膚治療
やまはな皮フ科クリニック 萩原 千成先生
- 市民無料皮膚相談会
廣仁会札幌皮膚科クリニック TEL: 011-221-8807

札幌市

日時：10月30日（日）13:00～15:00
会場：青森市文化観光交流施設 ワ・ラッセ イベントホール

- 市民公開講座
「皮膚科の救急疾患～急を要することがある皮膚病」
白石医院院長 白石 正彦先生
- 「ダニと皮膚疾患」
青森市民病院皮膚科部長 秋田 尚見先生

青森市

日時：11月3日（木・祝）13:00～16:00
会場：アーナ（いわて県民情報交流センター）盛岡市盛岡駅西通1-7-1

- アトピー性皮膚炎についての講演
- 星が丘瀬川皮膚科クリニック TEL: 0198-23-3858

仙台市

日時：11月20日（日）
会場：仙台商工会議所 7F 大会議室

- 「皮膚の日」講演会
・スキンケア製品の紹介、展示

山形市

日時：11月6日（日）14:00～16:00
会場：山形市保健センター大会議室

- 講演会
内容：たかが「にきび」たかが「ほくろ」と思っていませんか？
皮膚のことは、皮膚の専門家へ

つばさ皮膚科 TEL: 0237-43-1241

水戸市

日時：11月8日（火）19:00～20:30
会場：ホテル・テラス・ガーデン水戸 水戸市宮町1-7

- 講演「薬疹と薬剤障害」～最近の動き
筑波大学皮膚科 大塚 藤男教授

前橋市

日時：11月13日（日）14:00～15:00
会場：マーキュリーホテル 前橋市大友町3-24-1TEL: 027-252-0111

- 市民講演会
「きずの治し方一けがから癒瘍まで」
群馬大学 永井 弥生準教授

のぐち皮膚科クリニック TEL: 027-370-1211

長野市

日時：11月6日（日）15:00～16:00
会場：長野市生涯学習センター（トイゴ西4階）

- 市民公開講座
「たかが湿疹、されど湿疹」
信州大学皮膚科 奥山 隆平教授

池川皮ふ科医院 TEL: 026-286-5656

東京都

日時：11月6日（日）
会場：慶應大学病院11F会議室

- 足裏クロ無料相談会
詳しくは <http://www.tcdajp>

11月12日は=いいひふ=皮膚の日です。日本臨床皮膚科医会が昭和52年（1977年）に制定し今年で24年目を迎えます。皮膚についての正しい知識の普及と皮膚科専門医療に対しての理解を深める啓発活動を目的としています。皮膚の日には各地で講演会などのイベントが開催されていますので必ずしもアトピーの演題ばかりではないですが、のぞいてみてください。直前になると各地の医療機関の皮膚科外来待合室などに告知のポスターが掲示されますのでご覧ください。

なお昨年度の「皮膚の日」のイベントに関して同医会の報告も合わせて末尾に転載いたします。

日時：11月12日（土）13:00～16:00
会場：オーバルホール（毎日新聞社ビル地下1F）
大阪市北区梅田3-4-5TEL: 06-6346-8351

- 講演会
「ニキビは皮膚の病気！～ニキビ痕を残さない、あなたのニキビに合ったお薬は？」～明和病院皮膚科部長 黒川 一郎先生
「老化とシミ（仮）」～近畿大学皮膚科 川田 晓教授
- 皮膚病相談会

問 大阪皮膚科医会事務局（近畿大学皮膚科医局内）
TEL: 0723-66-0221

日時：11月12日（土）15:00～17:00
会場：あいめっせホール（姫路市）TEL: 079-287-0803

- 「皮膚の日」講演会 冬場の皮膚病の予防と治療
1. 「予防：スキンケア製剤の使い方」～姫路赤十字病院皮膚科部長 山田 稔先生
- 2. 「治療：ステロイド外用剤のウソ・ホント」～中山皮膚科 中山 英俊先生

問 法貴皮膚科TEL: 0798-65-0202

日時：11月12日（土）15:00～18:00
会場：学園前ホール（奈良市学園南3-1-5TEL: 0742-51-2001

- 講演会 15:00～16:00
「アトピー性皮膚炎」～奈良市立病院皮膚科 勝見 祥子先生
「爪矯正について」～山脇医院 山脇 光夫先生
- 皮膚科なんでも無料相談会 16:00～18:00

問 山科皮膚科医院TEL: 0743-53-8855

日時：11月23日（水・祝）13:00～16:00
会場：和歌山市民会館1F 市民ホール
和歌山市伝法橋南ノ丁7番地TEL: 073-432-1212

- 特別講演
「アトピー性皮膚炎の心得」13:00～13:30
和歌山ろうさい病院皮膚科部長 中村 智之先生
「たかが皮膚病・されど皮膚病」13:30～14:30
浜松医科大学付属病院長 濑川 雅浩先生
- 皮膚ガン無料相談会 14:30～16:00

問 和歌山県立医科大学皮膚科TEL: 073-441-0661

日時：11月6日（日）14:00～15:00
会場：天満屋5F てんまやホール（米子市）

- 市民公開講座「演題未定」～広島大学皮膚科 秀 道広教授

問 木村皮膚科クリニックTEL: 0859-33-9182

日時：11月6日（日）9:00～15:00
会場：岡山衛生会館（岡山市古町1-10-10TEL: 086-272-3225

- 講演会
「健康で若々しい皮膚を保つために-紫外線と老化（光老化）」～近畿大学皮膚科 川田 晓教授
- 皮膚の悩み無料相談・皮膚難病相談

問 中川皮膚科医院 TEL: 086-264-1402

日時：11月13日（日）14:00～16:00
会場：ふれあい健康館（沖浜東2丁目16番地）

- 市民公開講座「“皮膚がん”ってどんな病気」～徳島大学皮膚科 村尾 和俊先生

問 戸田皮膚科医院TEL: 088-657-6111

日時：11月10日（木）18:45～20:00
会場：香川県社会福祉総合センター 7F 第1中会議室
高松市番町1-10-35 TEL: 087-835-3334

- 「皮膚の日」公開講座 入場無料（但し100名様限定）
- 特別講演「虫の治療：最近のトピックス」～東京医科大学皮膚科 岬井 良治教授

問 森岡皮膚科医院TEL: 087-834-1011

日時：11月12日（土）15:00～17:00
会場：総合あんしんセンター
高知市丸ノ内1-7-45TEL: 088-824-8366

- 講演「ここまでできる！治りにくい皮膚病の新しい治療法」～高知赤十字病院皮膚科 武市 幸子先生
- 皮膚病無料相談（形成外科を含む）
- 無料相談（講演終了後）
- お肌の診断

問 桑名皮フ科TEL: 088-820-5830

日時：11月13日（日）13:00～15:00
会場：スカラエスパシオ
福岡市中央区渡辺通4-8-28F.T.ビルB2TEL: 092-712-8833

- 第15回「皮膚の日」公開講座
特集「ヘルペスって知っていますか？」
1) 単純疱疹
久留米大学皮膚科講師 小野 文武先生
- 2) 带状疱疹
安元ひふ科クリニック院長 安元 慎一郎先生

問 松田ひふ科医院TEL: 092-322-1212

日時：11月20日（日）13:00～16:00
会場：久留米大学旭町キャンパス 筑水会館

- 久留米大学「ひふの日」記念市民公開講座
講演「黒いできもの」ほか

問 久留米大学医学部皮膚科TEL: 0942-31-7571

日時：11月13日（日）14:00～15:00
会場：佐賀市文化会館
佐賀市日の出1-21-10TEL: 0952-32-3000

- 皮膚の日市民公開講座 14:00～15:00
「アトピー性皮膚炎」～佐賀大学内科学皮膚科 増岡 美穂先生
「かぶれについて」～唐津赤十字病院皮膚科 土井 和子先生

問 やさか内科皮膚科TEL: 0952-29-1722

日時：11月12日（土）14:30～16:00
会場：長崎市医師会館7F講堂 長崎市栄町2-22

- 第22回「ひふの日」講演会
公開講座
「尋常疹あれこれ」～長崎大学皮膚科講師 竹中 基先生
「膠原病の皮膚病変」～長崎大学皮膚科講師 小川 文秀先生

問 まつなが皮ふ科TEL: 095-885-7711

日時：11月13日（日）10:30～12:00
会場：熊本県立劇場 大会議室 熊本市大江2-7-1

- 皮膚の日記念市民公開講座
「こどもの紫外線対策」～東京慈恵会医科大学附属第三病院皮膚科教授 上出 良一先生

問 影下皮膚科クリニックTEL: 096-213-1777

日時：11月13日（日）14:00～15:00
会場：鹿児島県医師会館3Fホール
鹿児島市新照院町41-1

- 公開講座
「おしゃれ障害」について
島田ひふ科院長 島田 辰彦先生

問 ひさどめ皮ふ科クリニック TEL: 099-254-8833

平成22年（2010年）度皮膚の日の報告書より
全国合計催事件数：講演実施総数 52会場
来場者総数 5,419名
無料相談・無料検診実施総数：29会場
参加者総数 1,701名
新聞・テレビ・ラジオ放送等 29件

◆旭川市 日時：11月13日（日）14:00～ 会場：旭川グランドホテル
●演題「命にかかる皮膚の病気」
旭川医科大学上原治朗先生・山本明美先生。

第21回日本外来小児科学会年次集会の付設展示会に参加しました。



主に開院されている小児科の先生方の学術研究発表の場として年に一度開催。平成3年(1991年)に発足した同学会は「小児の総合医療と外来医療に関する研究と教育を促し、もって小児医療の向上をはかること」を目的とし21年目となります。

今回の開催は神戸国際会議場レセプションホールで足回りが良く、展示ブースへの企業参加も多く盛況。協会ブースでは推薦品マーク商品のなかで小児関連の衣料品を軸として展示紹介し多くの先生方の来訪をいただきました。少し展示会参加を控えておりましたが顔なじみとなったドクターから「やあ、また出ているね」とお声掛けいただきとても励みになりました。なおブースの近隣の方々とも懇意をいただき、展示会を通じてさまざまな商品の紹介もいただきました。医薬品・医療機器以外で「えっ!これは…」という優れモノも数多くあって順次紙面で紹介して行きたく考えています。

法人賛助企業様ご紹介 第4回（敬称略）

協会は多くの法人賛助会員さまの年会費によって会務を行っております。そこでささやかな紙面ですが日頃お世話になっている法人様を入会年度順にてご紹介してゆきます。関係各位にはコメントをお願いしておりますので是非アトピーの患者さんへのひとことをお願いいたします。

森永乳業株式会社

所在地 108-8438 東京都港区芝5-33-1
電話 03-3798-0133
業種・取扱商品 乳製品
平成7年(1995年)設立時ご入会

アトピー患者さんへのひと言

1977年、日本で初めて発売されたミルクアレルギー疾患用「MA-1」は、1998年の「ニューMA-1」へのリニューアルを経て、30年以上にわたり、アトピーをはじめとした多くのミルクアレルギーの赤ちゃんに医師の指導のもと、ご使用いただいております。これからも、森永乳業のアレルギー研究は、多くのミルクアレルギーの赤ちゃんを見守ってまいります。

株式会社エクロール

入会時 岩井商事株式会社より化粧品部門独立
所在地 650-0015 神戸市中央区多聞通2-5-16
電話 078-251-1588
業種・取扱商品 化粧品
平成9年(1997年)ご入会

アトピー患者さんへのひと言

アシュケアは、アトピーの患者様には、治療と同じくらい保湿が大切だというお医者様の考えのもと生まれたスキンケア商品です。また、軽度のアトピーは、スキンケアのみで軽快に向かうと考えています。本格的な乾燥の季節が始まると、早めの保湿を心がけておかれるより効果的です。アシュケアを使ったシンプルで、しっかりとした保湿ケアが、皆様の健康なお肌づくりのお手伝いになりますよう、頑っておられます。

皆さんでつくるアトピージャーナル

医学会患者会情報・新製品ニュース・話題・トピックスなど随时ご投稿ください。

鋭意検討のうえ掲載いたします。

日本アトピー協会通信紙 **あとぴいなう**
発行 特定非営利活動法人 日本アトピー協会
発行人 後藤田 育宏 主幹 倉谷 康孝

アトピーあはちゃんの娘です 連載2 「アトピーがでドイツに行けたやん」

ドイツでデザインを勉強するには当然ドイツ語がある程度しゃべれなければいけません。観光なら「こんにちは」「ありがとうございます」「何處ですか」「いくらですか」など簡単な会話とあとは數詞程度を知っているれば切り抜けられますがデザインの勉強となると、時には美術論や構図論などをしゃべらなければなりません。そこで5ヶ月間みっちりとドイツ語の特訓を受けました。まあ英語とは親戚のような感じで共通する単語が多く読み方が違うだけというのもあります、英語にはない名詞に男性女性の別があることや、「お稚兒(ちご)さんの眉」のようなウムラウト、Sが重なるエスツェットなどには面食らいました。その肝心の英語も怪しく、こんなことならもっと真剣に英語を勉強しておけばよかったと後悔しています。

その間、ワーホリの説明会に来たり、ドイツ語で作品集を作ったり、いろいろと忙しく大変でした。

そなん時に大阪在住のドイツ人と出会ったり、今までドイツに住んでいた人にたくさん会って、情報が豊富となって向こうでの暮らしが想像できるようになって自分の世界が今までと180度変わりました。

美術館都市といわれているミュンヘンのアルトピナコテーク、ノイエピナコテーク。そして何といっても「ユーゲントシュテール＝アルデコ」発祥の地としてデザイン運動ではミュンヘンは聖地、またワーマールのバウハウスへも…行きたいところばかりで夢はふくらむ一方でした。



さてアトピーについてですが、出発予定の6月はいつも調子が悪くなる時期で、出発直前にはすごくひどくなり、本当に行けるかどうか不安になりました。何と意地悪なアトピー、よりによってこんな時にと恨みました。

そこで思い切ってあまり強くないステロイド内服薬を服用してなんとか治まってから出発することが出来ました。

向こうで酷くなったら心配ですし、薬の入手方法も違いますので私を診ていただいている青木敏之先生には半年分の薬をもらいました。大変な量ですので空港の荷物検査でなにか聞かれたときのために、英語で診断書を書いてもらいましたが、実際にはフリー・パスでした。

初めてのことだらけで準備が大変でしたが、やりたい事をやるために努力してよかったです。

そしていよいよ出発。最後の難関は長時間フライト。成田・ミュンヘンはおよそ13時間、機内でも一万人を考え格安航空でなくフルハンザを選びましたが、機内は超乾燥状態と聞いており保湿剤を塗りまくつて機内に入りました。水のスプレー噴霧も有効なのですが手荷物検査で引かかるので諦めました。あとで気が付いたのですが、スプレー容器を空にしてゲート内の自販機でお水を買えば問題ナシでしたが…。

幸い機内では肌のトラブルがなく、またひたすら眠ることに専念しました。

そして憧れのドイツの大地を踏みしめミュンヘンのシンボル、フラウエンキルヘル＝聖母教会の尖塔を目にしたとき、とうとう来てしまつたという喜びと、ほんまにコトバ通じるのやろか…、これから何

が起こるのやろか…、アトピーおとなしくしてくれるやろか…という自分でも何とも頼りない思いにとらわれました。

しかし案ずるより何とかというコトバがあるようにドイツは素晴らしいところでした。

次号発行予定 12月12日

〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階
電話 06-6204-0002 FAX 06-6204-0052
E-Mail jadpa@wing.ocn.ne.jp
Home Page http://www.nihonatopy.join-us.jp/

DOCTOR INTERVIEW

大阪府立病院機構

呼吸器・アレルギー医療センター
アトピー・アレルギーセンター長

片岡 葉子先生

今回は大阪府南部羽曳野(はびきの)市にある近畿一円の呼吸器疾患、アレルギー疾患の中心的な役割を果たしている呼吸器・アレルギー医療センターに片岡葉子先生を訪ねご多忙の中、お話を伺ってきました。

(記 オフィスメイ 三原 ナミ)

——重症の患者さんが多いとお聞きしてますが?

私たちの病院は赤ちゃんから大人まで、他の病院でいろいろやってみたけれど、よくならないで受診される重症の方がほとんどです。かつての我々のアプローチとしては、何が悪いのか、原因悪化因子を見つけて取り除こうという考え方を中心に取り組んでいました。しかし、原因と思われるを取り除いてもなかなか良くならない方が多く、治療結果の満足度は不十分でした。そういう反省をもとに、私たちが見直した重要なポイントとして、実は塗り薬の治療が不十分なために重症になってしまっている方が非常に多いということが解ってきたんですね。アトピー性皮膚炎とは皮膚の炎症ですから、火事の原因を取り除くだけではなく、一旦起こってしまった火事を完全に消すことも重要です。消防が不十分だと、火事はどんどん拡大してしまいます。その結果、炎症が全身に拡大して、重症になって受診される方が非常に多いとわかつてきました。

アトピー性皮膚炎の治療では、原因悪化因子を考えることも必要ですし、大人ならストレスが関係していることもあります。そういう要素にも取り組みながら、はやく消火できる正しい薬の塗り方で早く改善することに今は特に力を入れていますね。

もう一つの私たちの仕事は、患者さんを診察するだけでなく、常に患者さんの治療の効果や検査データを定期的に振り返って、エビデンスを自ら明確にしていることにあります。

——重症の患者さんの治療についてお聞かせください。

2009年に改定された日本皮膚科学会のアトピー性皮膚炎の治療ガイドラインで、初めて登場してきた治療の目標として、“患者さんの皮膚炎症状があつたらすみやかに寛解(症状のない状態)させなさい”ということが明記されています。

寛解させるためには正しいステロイドの塗り方が重要です。病院で薬をもらっても、どこにどういうふうに塗りなさいとは言われないので、ちょっとましになつたら止めるということを繰りかえしてしまう。それでは、対処療法ですね。やっぱり、ステロイドは一時抑えの薬だなと思っています。

実は、ステロイドをぬっても、症状が繰り返されるのは、ツボをおえた塗り方をしていないからなんですね。そのことが、分かつてきただの、2008年から保険で検査できるようになったTARCという血液検査の動きをみることでわかつてきました。

また重症の乳幼児アトピー性皮膚炎では食物アレルギーを合併しやすいことはよく知られています。重症のアトピー性皮膚炎の赤ちゃんで、血液検査で食物アレルギーの陽性がわかると「卵か、牛乳か、小麦か…」とたいがいの人は一生懸命除去されますが、通常食物除去だけでは改善しません。実は食物アレルギーが原因なのではなく、湿疹が先で、食物アレルギーはその結果なのだということが明確になってきました。湿疹の爆発的な暴走が、(つまり皮膚炎症をおこしているリンパ球という白血球が非常に活性化しているという状態なんですが)、拡大していくながら、IgE(アトピーで活性化したリンパ球が作らせる)がどんどん増えていきます。IgEの数値が爆発的に上がれば、卵も牛乳も小麦も陽性になってしまいます。

ステロイドの塗り方がまずくて、湿疹が続いていると、どんどん数値があがってしまいます。見るからにも血液検査でも重症の赤ちゃんは、出来るだけ早く寛解させるようにしています。初期には相当しっかり薬を塗らなくてはいけません。2週間から1ヶ月ぐらいで寛解させて、それからゆっくり減らしながら、できるだけ少ない薬でキープしながら、薬を塗らなくてよくなるまで送りとどけるという治療をしています。

片岡葉子(かたおか ようこ)先生プロフィール



略歴——
大阪府立羽曳野病院皮膚科を経て現在、大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター(名称変更)皮膚科部長 同高度医療センター・アトピー・アレルギーセンター長 日本皮膚科学会専門医・日本アレルギー学会指導医 日本心身医学会認定医

このような治療で食物アレルギーが相当減らせるということが分かつてきました。

そのところを間違と大変です。赤ちゃんの湿疹がひどくなってきたときに「卵かしら牛乳かしら」ともたもたしている間はもうないんですね。最初に爆発したときに早く落ち着かせてあげることが大切です。もたもたしている間にどんどん拡大してしまう。そうなってから治そうと思うと莫大な薬も要りますし、一旦食物アレルギーになってしまふと母子ともに苦勞が大変です。

われわれの治療のスタンスの違いで将来の結果が大きく違うことが分つてきましたので、自信をもって、積極的に正しいステロイドの塗り方をする、そういう取り組みをしているんですね。

同じようなことを成人の方にもしています。早期に寛解させるような塗り方をしていないで重症になってしまっておられる方がとても多いのです。具体的には、薬をどこにどれ位の量をいつまで塗るのか、ということをわからず、塗っていることが多いと思います。

私たち医師は、忙しい診療の中で患者さんに塗り薬をこういう風に塗ればよくなるということを、正確に100%伝えるのは難しいことだと思います。そこで、患者さんの教育プログラムを確立して、ずっと困ってこられた重症の方を対象に、2週間の入院の間に看護師、薬剤師、栄養士、心理士とチームを組んで診療する取組みをしています。皮膚に対してはその間、2週間で寛解に持ち込めるように、一生懸命私たちが手伝って薬を塗ります。これまで150人以上の方が受けられて、多くの方が好転されていて、そういうこともふまえて薬の使いかたは大切だとつくづく感じます。

——入院中の学校教育の支援についてお聞かせください。

アトピー性皮膚炎というのはまだまだ世の中で、誤解されています。極端にひどくなっているお子さんも少なくない。もちろん辛いですから夜寝れなくなります。寝れなくなったら朝起きられなくて学校に行くのが遅れたり、痒みで勉強に集中できなくて、ついていけなくなったりします。

見かけも、もちろん気にしますし、学校でいじめにあったりするお子さんもいます。時には、アトピーがこじれてしまうひとつの理由として家庭の問題があったりとか、地域の学校での問題があります。そこで、府立羽曳野支援学校と提携して、子どもたちに対して支援をしようとすることで子どもたちの問題を見つけて改善して、学校へ無事にもどつていいけるようにする取り組みもしています。

——本日はご多忙のところお時間を頂戴し有難うございました。

A・T・O・P・I・C・S

アナフィラキシー対応のエピペンが保険適用に

旧お茶のしづく石鹼事件で小麦アレルギーによるアナフィラキシーショックの存在が世間に知れわたり話題となりました。そのアナフィラキシーショックの応急処置として医師免許がなくても講習会参加だけで使えるエピペン注射液（エビネフリン入り簡易注射器）が薬価収載され健康保険が適用されるようになり、これまで全額自己負担の自由診療扱いで患者さんには1万円前後の負担でしたが今後は3割負担となり使いやすくなります。と云ってあまりお世話になりたくない注射ですが食物アレルギーは、時として劇症型のアナフィラキシーショックを発症し、命を脅かす事態になることもあります、食物アレルギーを持つ方々には大きな不安要素でした。保険適用になってエピペン注射液が身近に常備できることで頼もしい安心材料となります。ただ万一の場合にエピペンを使ってショックから生還したとしても必ず医師に予後を診ていただき、少しの間、経過観察が必要です。なお今回決定の薬価は0.3mg=1万3千円(1300点)、0.15mg=8,112円(811.2点)で保険適用になったからと云つて医師の処方箋なしではエピペン注射液は薬局薬店では買えません。

アレルギー支援ネットワークではアレルギーっ子の緊急時安否確認システムを構築、

アレルギーの方の参加を呼びかけています。

アレルギー支援ネットワークに登録すると個別の番号が付与され、その番号の入った「手首用シリコンバンド」と「携行用カード」が送られます。緊急時には個別番号をもとに登録されているデータを検索し適切な指示を伝えることができ、また安否の問い合わせも対応できるということです。

アレルギー支援ネットワークは名古屋を拠点に全国展開しているボランティア団体、近い将来に起こるとされている南海・東南海地震にそなえての展開は「お膝元」だけに切実、この機会に災害時の対応を家族どうして話し合っておくとともに緊急時安否確認システムに登録しておくことを呼びかけています。なお登録は無料、また緊急時備蓄用アルファ化米は3袋1千円でお分けすること。

詳しくはNPO法人アレルギー支援ネットワーク

〒453-0021 名古屋市中村区松原 1-24 COMBI S103

電話 052-485-5208まで。



Atopic-Libro 読んでみましたこの書籍

●「涙のチカラ」坪田一男著

株技術評論社 1580円(税別)

なかなかお目にかかる表題に魅せられて読んでみました。確かに涙の役割って大切ですよね。身近な所では埃が目に入ったら涙が出ますし、感激や感情の変化で涙も出ます。でもその涙は違う成分だと存じでしたか?

人は1年で365mlの涙を流すそうです。牛乳瓶2本位だそうですが、まばたきをする時にも瞼がスムーズに動く様に涙が潤滑油となって目を守っているそうです。反対に涙がない!などの病や現代病となったドライアイについても詳しく書かれています。坪田メガネと言われるドライアイ専用メガネも著者が開発されたとか。男泣き・女の涙は違うのか?涙と目の機能を深く掘り下げた興味深い一冊です。



台風12号豪雨禍への支援ほか更なるご好意を頂戴しました。 ありがとうございます。

東日本大震災被災患者さんへの支援活動が終息に向かっている折から台風12号による豪雨禍が和歌山県南部を襲い世界遺産の熊野古道に沿った一帯に大きな被害がもたらされました。一部のアトピーの患者さんには知られている森田裕司先生の古座川町明神診療所が被害に遭ったということで協会では当座の品々を古座川町救援センターに送達、また三重県の熊野市役所にも支援物資を送達しました。今回あらたに株式会社サンワード商会様よりタオル等、また株式会社大衛様よりサービスカルマスクのご提供がありお礼方々報告いたします。

さらに震災支援の折に減農薬手作りクッキーを多数ご提供いただきました株式会社禾(のぎ)様からこの間、義捐金17万5,272円をお送り頂きました。遅ればせながら紙面にてお礼申し上げます。

朗報になるか!

腕時計型「アクティグラフ」という、三次元センサー応用デバイスで「かいかいポリポリ」を定量観察。

携帯やスマホは画面を横に傾けても画像は元のまま水平に保ってくれます。これは三次元位置割出センサーが働くからで、このセンサー応用の位置加速を割出す装置を腕時計のように手首に巻くだけで搔く回数や搔いた部位を記録、治療方針を考える目安となる…そんな定量化の研究が注目されています。本来は無呼吸症候群などの病態研究に使われていましたが三次元で腕の動きが感知できる事で睡眠時のアトピー性皮膚炎の搔破状況が定量的に観察できるようになりました。搔くことを抑制すれば症状は軽快に向かうことは多くの医師が認めています。そこで睡眠時の「かいかいポリポリ」の実態を知ろうと様々な試みられ暗視ビデオでの観察や音響観察が一部の医師の間で行われていました。そんな中、アクティグラフにより定量化できることは大きな朗報といえます。



今後、睡眠導入からの時間経過を追ったポリポリ行動とレムやノンレム睡眠との関連などが解明されれば治療環境がさらに大きく開けます。心臓疾患の観察に使うボルタル型心電計のように保険適用は未だ次の課題と云うことですがアトピー性皮膚炎に限らず医師の目の届かないところでの時系列定量化の行動観察が出来ることで、さまざまなデータ集積の可能性が広がります。

この項・サニタ商事株式会社(東京都新宿区 電話03-3359-4341)より資料提供をいただきました。

●やさしい治療+こころのケアの「アトピー カウンセリング」

野村皮膚科医院長 野村有子先生・

臨床心理士 内田恵理子先生共著。

日本医療企画発行 1333円(税別)

やはり女性の先生お二人が書かれたので、やさしく丁寧で分かりやすく書かれているという印象です。アトピーの基本的な事からお薬と治療法の事、食生活の事、スキンケアの事など、患者さんに必要なカタゴリーは全て載っています。決して難しくなくとも丁寧に書かれています。また題名のとおりこの書籍がアトピーの患者さんにとつてカウンセリングが出来るように工夫されていて、読みながら質問事項に記入するスタイルになっています。「アトピーですね」と初めて診察された方には、心強い一冊かもしれません。また症状が一進一退で「何とかしてよ!」と思われている方もチェックシートに答えながら、もう一度自分を見つめ直す事が出来る一冊だと思います。



図書の貸し出しをいたします。詳しくはお問い合わせください。TEL 06-6204-0002 FAX 06-6204-0052